

MONTHLY MAGAZINE

2000年12月1日発行（毎月1回1日発行）第39巻第12号（通巻475号）昭和40年1月20日 第三種郵便物認可

KOBECCO

December 2000 No.475 月刊 神戸っ子12



★神戸21世紀・復興記念事業「KOBEE2001」特集
★神戸ルミナリエ讃「光あれ！」鈴木 漠

X'mas Sale

12/1 fri.~25 mon.

10:00AM~6:00PM

(期間中の金・土曜日は11:00AM~7:00PM)

場所/木下真珠パールサロン神戸



PEARL COMMUNICATION



kinoshita
pearl

パールサロン神戸

X'mas Dreaming



JEWELRY タジマ

神戸市元町2丁目TEL.078 (331)5761

“山崎ウイスキー館”を訪ねて

若き日の思い出は、 ウイスキーと共に 大森一樹 (映画監督)



「僕も撮りたかったな」と歴代のテレビCMを眺めながら

新幹線の車窓からサントリー山崎蒸溜所が見えてくると、関西に帰って来たんだなと、ホッと胸をなでおろすのはなぜだろう。京都に下宿をしていた学生時代、芦屋にある実家に帰るときからの見慣れた光景だからかもしれない。遠くから見ると工場というよりも山合いの要塞といった方がいいような堂々としたたたずまいは、僕にとつて映画的口マンをかきたてられる建物だ。

そのウイスキーの要塞に、今日、はじめて足を踏み入れることになった。

考えてみると学生時代のときに、ウイスキーに出会ってからのというもの、これまで、この静かに燃焼するガソリンに、ずいぶんとお世話になってきたという感謝の念を拭い去ることはできない。学生時代はもっぱら安いホワイットが僕の鼻根であったが、今ではあまり見かけなくなってしまうことに一抹の寂しさを感じる。鳥井信治郎が心血を注いだ、この初の国産ウイスキーは、1929年に、白札という名で、ここ山崎蒸溜所に誕生したそう。現在、山崎蒸溜所では、山崎をはじめ、響、ローヤル、が、製造されているそうだが、ときを経て、ウイスキーの味も上品になったものだと感心した。

山崎の伏流水がウイスキーに変身していく工程を舌で確かめながら、工場長の松山隆一さんに案内していただいた。それにしても、麦汁を発酵させたウオッシュ（もろみ）は、なかなかいいける。日本酒も嗜好する自分には、この味も捨て難い。

「ウイスキーは樽材のすき間から少しずつ蒸発し、外気を取り込んでいく。つまり呼吸しているんですよ」松山隆一さんのお話が樽詰に移る頃には、すっかり酔いが回ってきた。

今年3月に、サントリーのウイスキー文化を伝えるべく、山崎ウイスキー館なるものがオープンした。館内では、広告ボスターや歴代のテレビコマーシャルが紹介されている。太地喜和子がセクシーなポーズをとる広告ボスターは、最高だった。そういういえば、学生時代、8ミリの撮影に夢中になり、サントリーのコマーシャルを撮りたいがために、サントリーに入りたといと真剣に考えたこともあった。

世界中から約7000本ものウイスキーを本に見立てて収集したというウイスキーライブラリーの一角で、貯蔵樽から取り出したばかりの原酒をテイastingさせていただいた。中でも40年貯蔵モルト原酒、これはうまい！ まるやかで熟成された風味が口の中に広がっていく。ストレートグラスもあつという間に空っぽ。

これまで、お酒の飲み心地は、翌日、目覚めてから決まる、と頑なに信じてきた。翌日、気持ちよく目覚められたことを考えると、ホワイットもよかったが、山崎しかり、響しかり、とくに40年貯蔵モルト原酒が格別だろう。

大森一樹

創業者鳥井信治郎の銅像。右手にはグラスを手にしている



世界中のウイスキー7000本を集めたウイスキーライブラリー



「ウイスキーは呼吸しているんですよ」と松山工場長



↑貯蔵庫に眠るウイスキー樽
→再溜金でろ過して、無色透明のウイスキーが完成する



サントリー山崎蒸溜所

住所／大阪府三島郡島本町山崎5-2-1

☎075-962-1423

●ウイスキー製造工程ご見学コース
滞在所要時間／約90分(工程見学50分/試飲20分/ウイスキー館の自由見学20分程度)
開館時間／10:00～15:00(1時間ごと)

●山崎ウイスキー館

開館時間／10:00～16:30(最終入館16:00)

休館日／年末年始・夏期休業日

※土・日・祝日は「山崎ウイスキー館」ガイドツアーを行っています(予約不要・所要時間約20分)



交通／JR山崎駅から徒歩10分、阪急大山崎駅から徒歩12分

<http://www.suntory.co.jp/factoryyamazaki>



今年3月にオープンした山崎ウイスキー館
撮影／池田年夫

大森一樹(おもり かずき)

映画監督。1952年大阪生まれ。京都府立医大卒。78年神戸賞受賞の自作シナリオによる『オレンジロード急行』でデビュー。『ヒポクラテスたち』『風の歌を聴け』『恋する女たち』『ゴジラVSビオランテ』『緊急呼出し/エマージェンシー・コール』『わが心の銀河鉄道 宮沢賢治物語』等、監督作品多数。1987年度芸術選奨新人賞を受賞。



←「太地喜和子は最高や」広告ポスターを手に
↓「これは格別や」40年貯蔵モルト原酒をテイステイング



↑サントリーのウイスキー文化が詰まった山崎ウイスキー館





濃霧

丸本明子

濃霧が湧く

涙を飲み込んでいるような

無数のデス・マスクを抱え込んでいるような

濃霧が湧く

分裂と融合を繰り返しているのが

伝わってくる

時々

粉々に割れるような

甲高い音が空を裂いている



戦火をくぐり抜けて

戦後半世紀の足跡を残して

詩人の魂が飛翔する

鎮魂の散華が舞い

法衣が 風に舞う

間隙に とどまっている

優しさと温もりの

影が伸びて沈溺する

草木が騒ぐ

風に吹かれて騒ぐ

——花と人と街と——
第12回 望月 美佐



花



もちづき みさ
(書家)
神戸市兵庫区在住

日本の書には、優雅なリズム感があります。この美しさをもっと多くの人々に知ってほしい。しかも、日々の暮らしの中で楽しく親しめるように…。そんな気持ちで私は「美佐オリジナル」を始めました。いよいよ21世紀。世界に日本の書の美しさを一。

“ベイシティバンクかんしん”は「共感・対話・信頼」を企業理念として、地域の文化・芸術の育成に努めております。

この“かんしんストリートギャラリー”も芸術の香りをほのかに漂わせたアートのスポットとして、本年は「花と人と街と」と題したシリーズで様々な作品を紹介してまいります。



生田新道に面したストリートギャラリー



kansin

ふれあいウェーブ——ベイシティバンク

関西西宮信用金庫

神戸市中央区下山手通2丁目12-3 〒650-0011
PHONE (078) 332-5151 (代) Fax (078) 333-9874

KOBECCO

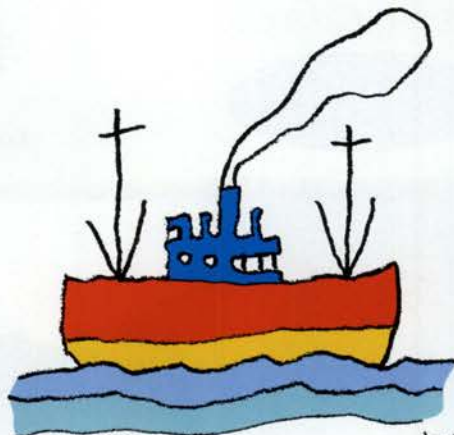
月刊神戸っ子12月号

No.475

DECEMBER 2000

これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です

表紙／中西 勝「夜曲飛天」



イラスト／黒田征太郎

特集

神戸21世紀・復興記念事業

22

座談会

「みんなでつくる、ひと・まち・みらい」

浅木隆子 上根保 南嘉明 小室豊允

61

KOBE2001主要イベントスケジュール

58

インターネット博覧会

「21世紀への旅―旅立ち、祭り、そして祈り―」

essay

18

神戸ルミナリエ讃「光あれ！」

鈴木 漠

series

43

新連載エッセイ<4>

植草貞夫のスポーツ交友録

「神サマ仏サマ稲尾サマ」

48

ジャズ・インタビュー<5>

「ビ・バップが弾ける」

秋吉敏子 井上 智

74

竹久夢二 四つの恋のものがたり<19>

「『少年山荘』別名『山帰来荘』」中右 瑛

series

6 ボエム・ド・コウベ「濃霧」丸本明子 写真：小山保

11 兵庫県文化賞・神戸市文化賞

12 KOBECCO 2000／鐘撞正也 中塚圭子

14 コウベスナップ

16 ある集い／神戸ネオトロピカル協会 女性アンサンブルエコ・エレガント

26 神戸のお嬢さん／衣川夏織 山田紗由香

55 おなじみプロフェッサーPの研究室／岡田淳

56 私の意見「文化遺産としての映像」廣瀬哲雄

64 神戸のアーバンデザイン〈12〉武田則明

65 神戸のモダンリビング〈12〉中北幸

66 神戸を福祉の街に「よき隣人はよきボランティアへの第一歩」橋本明

67 神戸ウイングスタジアムに決定！

68 はるにゃんのHYOGO WALK「Hyogoしごと情報広場」

70 ミステリーグルメ神戸篇「ONE DAY LILY〈10〉」ウドノ葉生子

76 ズームインZOO「ズゼちゃん、おめでたなのね！」亀井一成

78 有馬歳事記「兄ちゃんおもしろいけど、肉もうまいで！」

80 びっと・いん

81 中村友一の味な街「すゞらん」

82 ルボ・長崎紀行

84 もだかる0012

86 ポケットジャーナル

88 異端の薔薇〈6〉中谷衣里

92 啓介いろは歌「親父の小言いろは歌」今井啓介

93 神戸っ子倶楽部通信／愛読者プレゼント

94 北野大散歩／クリスマスイベント情報

96 神戸百店会／ゴンチャロフ 洋菓子パラダイス

98 神戸うまいもん&ドリンキング／アンテナール

コンフェクショナリーコトブキ

カメラ／米田定蔵 池田年夫 松原卓也 米田英男 森田篤志

KOBE EXCELLENT FASHION

手づくり
お誂え紳士服

Bespoke Boutique

欧風館
KOBE

新しい世紀に、守り続けたい
手づくりの技と心があります。

英国王室エリザベス女王御用達「J & J ミニス」の
最高級ウーステッド服地をご用意し、お待ちしております。



写真は竹中店長。手に持つのは歴史を感じさせるお客様の型紙。三代にわたりご贖にされているお客様もおられる。

★選りすぐった一点を...

Sanohe

神戸市中央区元町通2丁目5-11 TEL.321-1710

KOBE
EXCELLENT SHOP

ハイカラ神戸の伝統を
現在に伝える名店

★神戸唯一のボルボネーゼトータルブティック

BOUTIQUE
Omura

神戸市中央区元町通3-2-18
ボルボ店 TEL.391-0014
ピアノコ・ドンナ店 TEL.391-4601
(クーカイ店)

★よろず御機衣縫上處

神戸シャリ

神戸市中央区三宮町3丁目1-6 TEL.331-2168

★婦人帽子

maxim
マキシン

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13(トアロード)
TEL.331-6711 全国有名百貨店婦人帽子売場

★伝わる真ごころ 最高の風格

手づくり
お誂え紳士服

Bespoke Boutique
欧風館
KOBE

創業明治16年 株式会社 柴田音吉商店

本店 神戸 元町本通4丁目アーケード南 TEL. 341-1161
東京店 東京 帝国ホテル本館アーケード内 TEL. 3503-7973

県内の多彩な 活躍を顕彰

話題の広場

★「ほっこり」文学の田辺聖子さん文化功労者に

作家の田辺聖子さんが文化功労者に選ばれた。1964年『感傷旅行（センチメンタルジャーニー）』で第50回芥川賞を受賞後、関西生まれの笑いと人間の哀しみを書き続けてきた。震災後には『ナンギやけれど…私の震災日記』『ほっこりぼくぼく上方さんぽ』などの著書がある。昨年10月号の「月刊神戸っ子」で米山俊直大手前女子大学長と対談いただき、「人を感動させて励ますような物語を書ける作家がもっと出てきてほしい。殺伐とした世の中ですから心に響く物語の需要は大きいと思います」と話された。



文化功労者に選ばれた田辺聖子さん

★長年の功績、本年度の活躍 をたたえる兵庫県4賞

兵庫県文化賞に、美術評論家・伊藤誠さん、生田神社宮司で日本神戸民俗芸能団団長の加藤隆久さん、作曲家・三枝成彰さん、ユニークなアートパフォーマンスで有名な現代美術家・嶋本昭三さんから6人が選ばれた。科学賞には、「Spring-8」建設リーダーとして活躍した上坪宏道さん、放射線医学



11月9日、兵庫県公館にて行われた授賞式にて

の分野で業績の深い河野通雄さんら5人。スポーツ賞を、柔道の篠原信一さん、シンクロナイズドスイミングの巽樹理さん、パラリンピック金メダルの競泳選手・加藤作子さん、酒井喜和さん、陸上選手・畑中和さん、兵庫県体育協会副会長・桂廣保さんら14人が受賞した。社会賞は、兵庫県社会福祉協議会副会長・谷口勇さん、日本ボーイスカウト兵庫連盟、兵庫県教育心理研究会に贈られた。

★神戸の文化発展に貢献した 団体・個人に「2000年度神戸市文化賞」

神戸市文化賞、文化奨励賞、文化活動功労賞も決まった。

文化賞は、関西学院大学名誉教授で社会心理学者の田中国夫さん、詩人・直原弘道さん、画家・納健さん、能楽師・吉井順一さん、考古歴史学者・檀上重光さんが受賞。今後の活躍に期待できる新進アーティストに贈られる奨励賞に、画家・西田真人さん、声楽家・井原秀人さんが選ばれた。功労賞は、デザイナー・山田芳信さん、邦楽家・小倉萬智井さん、関西マンドリン合奏団（川口優和主宰）、企画の山本芳樹さんら8人に贈られた。



KOBECCO
2000

中塚 圭子

犬のしつけを通して 感情の伝え方を学ぶ

KEIKO NAKATSUKA

＜JAHA認定ドッグインストラクター・JKC公認
訓練士・ドッグスクール「ドルチェカーネ中塚」代表＞



撮影／米田定蔵 北区・自宅近くの公園で愛犬サリーと

北区の閑静な住宅街、自宅1階を改装したトレーニングルームで週6日開かれる愛犬のしつけ教室。訪ねてくるのは、近隣に住む犬好きの主婦、全国の愛犬家たちだ。

先生は、中塚圭子さん。日本ではまだ珍しいドッグインストラクターと訓練士の2つの肩書きをもつ。「訓練士は犬を、インストラクターは飼い主を教えるんです。私は後者。飼い主と犬が喜ぶことを目指しています」。震災時には動物救援センターで馴れないボランティアに犬の扱い方を指導、現在も動物病院や専門学校での講習など、ひっぱりだこだ。教室では犬と飼い主がペアになり、遊びの中で生活のルールを身につける。そこには訓練特有の悲壮さはない。「飼い主は暴君じゃダメ。頼りになるリーダーでなきゃ。言うなれば犬の善き旦那さまであれって感じかな」

そんな中塚さんも以前は強制訓練を最上の方法と信じ、一愛犬家として指導を受けていた。愛犬のサリーは訓練競技会にも出場するほど利口な、しかし生気のない犬になった。悩んだ末、当時まだ日本に普及されていなかったしつけ法を独学。体罰を行うと暴力的になる、褒めることの大切さ…。「目からうろこでした。子育てと同じ、犬を育てるって『哲学』ですよ」。そんな面白さにハマってしまった中塚さんが、結婚前は小学校の先生だったと聞き、納得。「犬のしつけって人間にとっても言葉を使わない感情の伝え方を学ぶこと。飼い主の側に、犬が言葉を理解するのを待ってあげる、一呼吸の余裕が欲しい」。現代人には耳の痛い言葉だ。

（宇都宮）



KOBECOCO
2000

鐘撞 正也

自由から生まれる 幸福な空間

MASAYA KANETSUKU

〈フリーダム設計代表〉

新鋭の建築家、鐘撞正也さんが代表を務めるフリーダム設計は、栄町の賑やかな通りに、シックなデザインが一際目を引く。

マイホームを購入するとき、ハウスメーカーや工務店に依頼する場合が多い中、直接建築家に依頼する方法を活用してほしいと話す。「マイホームを建てるときに銀行から借りられるお金は、せいぜい年収の6倍ほど。そうなると、都心部なら30坪ほどの土地に限られてくる。その中で依頼主の要望に応えられるかが、僕たち建築家の仕事」。建て売りは業者が中間マージンをとるため、料金にはねかえる。その料金を抑えようと、土地探しから請け負うこともある。資金ぐりや土地形状の問題は依頼主にとっても最大の気掛かりになる。「納得いくまで話し合い、図面を書き上げる。時には、依頼主と共に銀行まで出向き、融資の担当者を説得することもある」

鐘撞さんの作品は、ホワイトやクリームを基調に、自然光に吹き抜け。ゆったりとした空間に幸福感があふれている。とても30坪前後の敷地に創られた空間とは思えない。高校卒業後、夜間部のある建築科に入学。まったく違う世代の人と知り合うことができて、大きな情報源にもなると考えたからだ。バーテンやトラックの運転手なども経験し、いろいろな人に出会い、いろいろな物を見た。既存のものに捕らわれない、自由な空間を創造することに役立ったと話す。「マイホームは家族にとって宝物。大切なものを創造していくことは、責任が重いかど楽しくて仕方ない」。来年、30歳を迎える。神戸にどんな作品を残してくれるのか、注目したい。

〈高橋〉



↑国境を越えて共に歩こう「兵庫県外国人学校協議会創立5周年記念祝賀会」

10月17日、兵庫県外国人学校協議会（林同春会長）の創立5周年を記念するパーティーが、神戸外国倶楽部にて行われた。「世界は一つ、人類は共生」をテーマに歩む協議会の5周年を祝い、具原俊民兵庫県知事があいさつ（写真左）、なごやかなパーティーとなった

↑兵庫県立夢野台高校70周年を祝う

10月7日、夢野台高校の創立70周年記念祝賀会が、長田区房王寺町の新校舎でとり行われた



↑第2回神戸グローバルチャリティフェスティバル

10月21・22日、神戸外国倶楽部にて、ボランティア団体が集いチャリティフェスティバルを開催。神戸子サンパチムの子どもたちもパレードに参加



↑一宮神社の秋祭り

10月21・22日、一宮神社（山森大雄美宮司）の秋季大祭が開かれ、猿田彦に扮した市民やみこしが山手界隈をねり歩いた



K O B E コウベスナップ S N A P



↑サントリーが神戸市に消防車を寄贈

サントリーオープン等の本年度活動のチャリティー収入から、消防自動車2台と台車付小型動力ポンプ5台を神戸市に寄贈。10月29日に神戸市民防災総合センターで受納式が行われた。サントリー（株）の鳥井道夫副会長（写真中央）から鶴来純一神戸市助役へキが手渡された



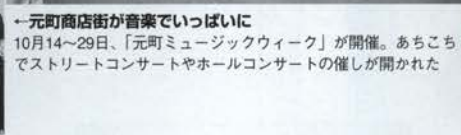
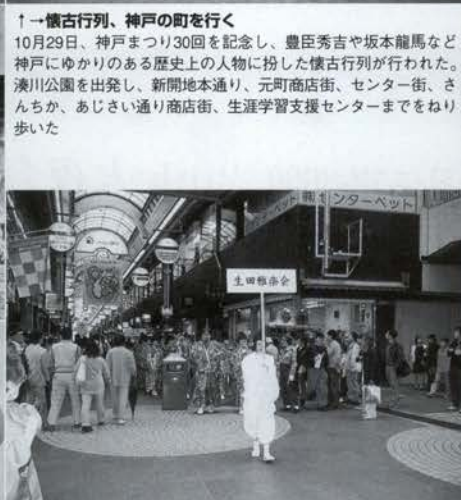
↑響け兵庫「ふれあいフェスティバル2000」

10月28・29日、県立明石公園にて「ふれあいフェスティバル」が開催された（写真右）。オープニングには宝塚音楽学校の生徒たちが歌を披露（写真左上） 淡路島どり（写真左上）やふるさと楽市楽座（写真右中）で大盛況



↑「第2回神戸シャンソンフェスティバル」開催
11月3日、新神戸オリエンタルホテルにて、（写真右より）藤本純子、平山穂恵、戸川昌子、村上美穂、堀部子、梶井加代子、室田純子のみなさんが勢揃い





K O B E コウベスナップ S N A P



↑エノチウ、
神戸で白昼、54丁
の銃を運ぶ
アーティストの榎
忠さんが11月3
日、神戸駅近く
のギャラリー「グ
ストハウス」か
ら元町駅のカ
フェ「MOKUBA」
まで銃を型ど
った作品を歩いて
運ぶパフォーマンス。
日常と非日常がこ
すれあった



↑松本小銀杏さんの個展、アルベンチーナで
11月1〜20日、「アルベンチーナ」でイラストレーター松本小銀
杏さんの個展が。人物のバックに描かれた和風でいてサイケデリ
ックな模様が目玉を集めていた

↓「神戸カメラマン協会」作品展開催
11月3〜7日、デュオギャラリーにて創立20周年をむかえた「神
戸カメラマン協会」展が開かれた。元報道カメラマンを講師にし
た協会の会員約30人の作品が一堂に



↑「書ing秋桜 書塾展」
10月28〜11月2日、書&きら絵の釣秋桜さん主宰の塾展
がトアギャラリーで開かれ、生徒さんの力作が勢揃い

↑ワールドカップオフィシャルショップがオープン
10月28日〜2002 FIFAワールドカップ「オフィシャルショップ」が三
宮本通りにオープン

